

サロン・あべの

Vol. 102

<サロン・あべの> 11月の出会い

海外旅行のすすめ

Travel

94年11月19日(土)、育徳コミュニティセンターにおいて、サロン・あべのの11月の出会いを開催した。今回は、株式会社アロハセブン大阪支店の中田治さんと許純子さんにおいでいただき、「海外旅行のすすめ」というテーマで、お話をしていた。

海外旅行全般について

海外旅行の第一歩は、ガイドブックなどを使って、まず情報を集めることから始まる。どこへ行ってみたいのか。何がしたいのか。何が見たいのか。旅行についての具体的なイメージを持つてから、旅行会社(旅行代理店)の窓口を訪ねること。知名度や会社の規模よりも、行きやすい店を選ぶこと。そして、こちらの希望を親身になって聞いてくれそうな人を捜すことである。

どが航空運賃である。現地での食事や観光に必要なお金は、国内旅行と大差はない。また、土産物にかなりの金額を使う人もいるが、他人のために買い物をするお金と時間があれば、その分は観光に回し、自分のための思い出を作った方がいい。

あおぞらツアーについて

アロハセブンが障害者向けに企画した画期的なツアー。それが、あおぞらツアーである。

これまでも障害者向けに企画されたツアーはあったが、出発日を含めて、日程があらかじめ決められており、その機会を逃すと参加できないという欠点があった。しかし、アロハセブンのあおぞらツアーは、ハワイ・アメリカ西海岸へ毎日出発でき、しかも、二名から催行される、個人型のツアーである。企画の段階から障害者と共同で制作されており、細かな配慮がされて

旅行に必要な費用は、ほとん

いる。

電動車椅子でも参加ができ、

ホテルも障害者用客室の手配が

可能。現地での移動には、バン

(スロープ又はリフト付き)を

使うことができる。個人型のツ

アーなので原則として添乗員は

同行しないが、現地のスタッフ

が世話をしてくれる。また、海

外旅行が初めてで不安という人

のために、出発日は限定される
が、添乗員付きのコースも設定
されている。

その他

現地でアテンダントを雇う場

合の注意点、旅行に必要な持ち

物や出入国手続きについてなど、

この紙面には載せきれないほど、

興味深いお話をたっぷり聞かせ

ていただいた。さらに、参加者

からの質問にも、丁寧にお答え
いただいた。

ハワイやアメリカ西海岸の進

んだ福祉を肌で感じるのもよし。

澄みきった青空とさわやかな風

にふれながら、のんびりと過ご

すだけでも、十分に価値のある

ツアーである。

なお、あおぞらツアーには、
一般の旅行代理店からでも申し

しました。

まず、二五日は、午後五時頃出発なので

二時間前の午後二時に航空会社のチェック

を済ませました。そして、国内線は施設料

はいりませんが、国際線だけ必要なので二

千六百円払いました。

出国手続きに必要な書類は、旅行代理店

にしてもらうと手数料を取られるので、書

類は自分で書いた方がいいと思います。

分からなければ見本もあるので、自分で

できます。ただ、タイ語か英語だけなので、

よく分からない人は代理店に書いてもらっ
た方がいいと思います。



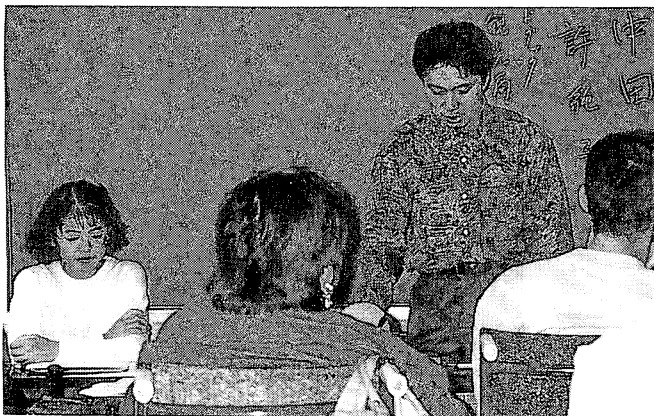
タイを訪ねて

加賀谷 正

十月二五日から二九日まで、会社を四日
間も休んでタイ王国に行ってきました。

私は、タイ語と英語が少しだけ話せるの
で、ツアーではなく個人旅行をしました。

まず、航空券はバンコク往復で十万円は
軽く切るほどのディスカウントチケットを
買いました。ホテルは現地に着いてから探



「海外旅行のすすめ」をする
中田治さん(右)と許純子さん

込めるが、もっと詳しく内容を
知りたいという方は、直接、ア
ロハセブンの、あおぞらデスク
(〇六一四四二―四六八七)へ
問い合わせてください。
参加者〓四十一名。
司会〓河合恵子。
(上平幸雄)

大阪からバンコクまでは約六時間かかり、時差が二時間あるので、現地には午後九時に着きました。そして、空港で六万円をタイのお金パーツに両替すると、円高のため一万五千パーツももらえました。

一パーツ四円です。ラーメンがだいたい二〇パーツ、ジュースが十パーツくらいです。空港からは、空港内での営業許可をもった高いタクシーには乗らず、少し歩いて一般のタクシーに乗りました。

タイに精通していない人は、一般のタクシーに空港では乗らないように。

私は、市内まで四〇分くらい乗って二百五〇パーツでした。

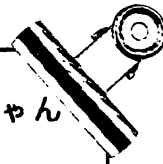
二六日は、バンコク市内を見て回り、二七日は、バンコクから北に約七百キロのチェンマイへ飛行機で行きたかったのですが、満席だったので、さらに北に百キロのチェンマイまで行き、そこからプロペラ機でチェンマイに戻りました。

バンコクからチェンマイまでは、一時間とちょっとで八千円です。

チェンマイでは、ナイトバザールが有名で、Tシャツや大きな扇子、民芸品などいろいろ売っています。

二八日は、車をレンタルして、いなかの方や滝を見て回りました。

バンコク市内を車いすを押して、見て回るのはかなり難しいと思います。歩道はかなりの段差があり、車道は車だらけで危なくて通れません。いなかの方は、のんびりしており大丈夫と思います。ただ、タクシーはかなり安いのでバンコク市内でもタクシーで、あちこち観光できると思います。



人恋しき秋

おもしろい 姉ちゃん

秋が深まってまいりましたが、みなさまにはいかががおすごしですか？

私は、秋の深まりとともに人恋しさがつのって、非常に心寂しく感じる日が多くなってきました。

そんな気持ちには顔に出るのか、心優しい寮生さんたちは

「先生、元氣ないな。元氣出しや」となぐさめてくれます。しかし、よく考えれば、私には自由に会って話せる友人・家族、気を紛らわせるお酒に遊びを自由に選ぶことができま

す。でも、寮生さんたちは、誰かの手を借りなければそれらの権利を行使することは難しく、それを誰かにしてもらおうという発想も浮かばない人が多いのが現実です。

自分の寂しさにかまけず、寮生さんの寂しさも思いやれる人間でいたいと思います。

田 淵 美登利



新聞百号発行に寄せて

百号発行にたくさんの方からお便りが寄せられました。いまさらながら百号ってすごいことなんだなあと再認識させられました。



今日わ 一〇〇号いただきました。
おめでとうございます。

私のも、載っているかなど、さっそく捜しました。自分の文をウンウンとうなずきながら読みました。

△サロン・あべのVの一員に入っている
などという感じがしました。

和田保子



秋風に乗って金木犀の香りが漂って参ります。日々お健やかに過ごしの事と拝察申し上げます。

先日は△サロン・あべのV紙お送り下さり、ありがとうございます。

スタッフの皆様方の行き届いた編集により、とても立派な百号紙となり、時間の経つのも忘れて一気に読ませていただきました。特に百人一語では、百十二人もの方々からの思いのメッセージが、大きな輪となって私の胸に伝わり、感無量の思いで

一杯でございます。

これからお身体に気をつけて、いい出会い、ふれあいを期待致しております。

秀 翠



△サロン・あべのV送っていただき、ありがとうございます。

名前は、気にしないで下さい。ちょっと変わった名前なので、よく間違われます。

そのかわり、一度覚えていただくと忘れないうです。(百号28頁下段「喫茶みどり

」↓「喫茶みどりの」に訂正)

私たちも大阪市内に住み、たまに「ポツポ」のパンを買い、一度「きじむなあー」にも行った事がありますが、なんせ、バタバタしていてちっとも落ちていません。でも、南光さんより、たまにもらう△サロン・あべのVは、楽しみにしております。ホノボノ ほんわかムードがあります。また、一〇〇号に声をかけていただき本当にありがたく思っています。

こんな、私たちですが、また機会があれば講演にも行きたいなあーと、いつも言っ

ております。とみたさんとは、お会いした事はありませんが、ひよっとしたらどこかでお目には、かかっているかもしれない。

いつかお会いできる日を楽しみにしております。これからも頑張ってください。そして、よろしく。

「みどりの」山本みどり



前略

記念号を ありがとう

ゆつくりと読ませていただいております。

「百号の土根色おばたのもしき」

YUZO

二百号 楽しみに！

西村 勇三



朝晩、寒さを感じる季節になりました。いかがが過ごしですか。

△サロン・あべのV一〇〇号発刊、おめでとうございます。すみからすみまで、じっくり楽しませていただきました。

一〇〇号までの道のり、人には言えぬ大変な苦勞だったと思います。

百人一語にありますように△サロン・あべのVが届くのを楽しみに待っている人がたくさんおられる事が、石田さん富田さんの支えになっているでしょう。

また々うちらの話々では、石田さんの話の口調がそのまま活字になっているので、お二人のやりとりしている姿がほのぼのと目に浮かんできました。

これからもずっと、あたたかい△サロンのあべのVであってほしいと願うのはみんなの願いだと思います。私たち「ウイズ東淀川」もがんばりたいと思います。

道工 美子



朝晩めっきり冷え込んで参りました。いつも、お手紙ありがとうございます。

百号、今日受け取りました。ありがとうございます。すばらしい百号ですね。

一度に読むのはもったいないので、二、三ページくらい読んで、人の心のやさしさ温かさにふれる幸せをかみしめております。

「ウイズ東淀川」ホスピスのお話で、あまり聞く事の出来ないお話で、よい勉強になりました。時間のある時は△サロン・あべのV 「ウイズ東淀川」と勉強の場に、温かな出会いに行きたいと思っております。

木村 圭子



爽やかなよい頃となつてまいりました。

本日は待望の△サロン・あべのV一〇〇号、お送りいただきまして、有難うございました。一気に読ませていただきました。

一〇〇号に至るまでの編集のご苦勞に心より感謝し、よく続けて下さったと頭の下

がる思いで一杯です。どうか、これからも
よりよいサロン紙発行をめざして下さい

杉山 蔦枝



しよう しようが、するする したした
へ 昇華した一〇〇号。

大切に致します。

ありがとうございます！

お疲れ様でした。

皆様の熱意に乾杯！！

松本 孝



拝啓

ついこの間まで、暑い暑いと言っていた
のに、もう秋も真っ只中です。

お元気で、ご活躍のご様子、陰ながら喜
んでおります。 私事

七月半頃より体調をこわし、九月末までの
らくらく、近ごろやっと少し元気になり
ました。

毎月ハサロン・あべのV紙をおくってい

いただき、又、今回は一〇〇号記念紙を有難
うございました。

皆様の頑張りには、何時も頭が下がりがま
す。くれぐれもお体大切に。 私も

元気になったら、又、お手伝いができたら
いゝな...と思っております。

岡崎 美智枝



拝復

ハサロン・あべのV百号、ご出版おめで
とうございます。

もくもくと地味なご努力の積み重ねが今
日の成果を生み、本当にご苦勞様です。

皆様方の結束の固さが、今日の喜びを迎
えられたと思います。

その内、お集りに加わりたいと思いつ、
その日になると用が出来たり、少々おびて
いたり、一ヶ月がすぐたつてしまいます。

皆様がお元気で頑張っていてくださる事
を何時も、私の喜びの中であたためていま
す。ますますのご発展を祈ります。

森下 公子



装いも改まった一〇〇号が届き、目を瞠
りました。限られたスタッフの手で、無遅
刻・無欠勤・早退なしのこれまでの道のり
が、堂々の一〇〇号記念号に結集されてい
ると思えました。と同時に私にはハサロン
・あべのVが又ひと回り大きくなつて、骨
格も定まり、確たる足取りで進んでいかれ
る姿に見えました。マンネリではないマイ
ペースで、私たちにヒューマニズムの発信
を送り続けて下さい。

ハサロン・あべのVに温かい雰囲気を漂
わせ、心を和ませてくれるさしえのファン
でもあります。野の花、人々のひとこま、
いつも楽しみにしています。

とみた まり子



秋冷の候

その後、お変わりなくお健やかに過ごさ
れたいと存じます。

日頃は、ご丁寧にも、ハサロン・あべの
V紙をお送りいただき、有難うございます。
私もお陰様で、関西空港の店も順調に推
移致しております。

今後益々、ご活躍の場を広げられること
をお祈り申し上げます。

時節柄、ご自愛のほどをお祈り申し上げ
ます。

敬具
Y・F



拝啓 秋風が心地よく感じられる好季節
となりました。

さて、この度ハサロン・あべのV百号の
記念紙をご送付賜りまして、厚くお礼を申
し上げます。私の投稿文もそのまま掲載し
ていただき、今から考えますと面映ゆい感
じが致します。

いつも頂戴しております同紙は、皆様ご
多忙中にもかかわらず、よくも立派にまと
めておられると感じいっておりましたが、
今回は特に記念紙にふさわしく、装丁も新
たに、内容も拝見させていただきました。



編集にたずさわられた方々のご苦労が、素
人の私にもよく理解できました、本当に頭
の下がる思いでいっぱいです。

百人一語はそれぞれ投稿された方の正直
なお気持ちが表示されておりますし、また
石田様、富田様の〴〵ちらの話はとても
興味深く拝見致しました。

私も障害を持つ身ですが、サロンに集う
皆様の強く前向きに生き抜くという強靱
な意志が、それぞれ行間に滲み出ていると
感じるのは、私一人ではないと思います。

また、前月の出会いの詳細な記録が掲載
されている冒頭の文章は、いろいろな方々
が分担されて、非常に分かり易い内容にま
とめられておりますが、これは毎号毎号が、
サロン活動の歴史そのものであると同時に
私にとりまして、貴重な情報源でもあり

ます。

いろいろ愚考、拙文を呈しまして申し訳
ございませんが、関係委員の方々に心から
感謝の意を表しますと共に、サロンの発展
とサロン紙が更に充実され、人々にいつま
でも勇気と希望を与える活力源として、存
続されることを切にお祈りし、筆を擱きま
す。

敬具
倭 幸夫



拝啓 秋も深まってまいりました。

皆様には、お変わりなく、お過ごしの一
ととお喜び申し上げます。

さて、このたびは、一〇〇号発行おめで
とうございます。今回は冊子で立派なもの
になっており、なかなか読みごたえがあり
ました。今後とも頑張ってください。

取り急ぎ、お礼かたがたごあいさつ申し
上げます。

敬具
大阪市心身障害者

リハビリテーションセンター

周 山 逸 人



日に日に寒さを感じるころになってきました。

このたびの△サロン・あべの▽(一〇〇号)、とてもすてきな本になりましたね。わが拙文も載せていただいて光栄です。今まで築かれたネットワークの大きさはなにもものにも優るものですね。スタッフの方々のお人柄から生まれたと思います。

今後のご活躍をお祈りします。

出口 正敏



おめでとうございます。すばらしい一〇〇号の記念紙をありがとうございます。うございました。

そのお交わりに、お仲間に入れていただきともうれしいです。

サロンの皆様のごなたにもかわらないやさしいお心が、多くの方に感動をあたえて今日があるのだと信じております。

これからも、どうぞ△サロン・あべの▽のあたたかい灯が、なにわの街にともりつづけられますよう、よろしくおみちびき下さいネ。

お手伝いもできず、出席もままならない小さなものですが、どうぞ末ながくお仲間にして下さいませ。

これからもお身体に気をつけて、いい出会い、ふれあいを期待致しております。

岡 賀寿子



奇席好男さんのいうサロン村に、帝釈天で産湯をつかったおなじみフーテンの寅さんの玄孫(やしやご)が、フラーツとやって来て、さろん亭の横に戸板を置く。そして、初代寅さん愛用のあの四角いカバンから、やおら取り出した本を並べる

サアサア おたちあい

ご用とお急ぎでない方

寄つてらっしゃい 見てらっしゃい

その娘さん 遠慮はいらないよ

取って食おうとはいわない もっと近こう寄って 手に取って見とおくれそこ ここにあるというものと品物が違うよ

これが あの有名な 大阪は阿倍野のサロン・あべのが出した新聞だ 一〇〇〇号だよ

サアア おたちあい

中を見れば そのすごいこと

はるか海の向こう 異国の人からも

驚くなかれ 宇宙の人からも

千人一語がきてるんだ

こんな新聞 他にあるかよ

目ん玉ひんむいて よおく見ろ な

まったく サロンというところは

みあげたもんだよ 屋根屋のふんどし

五代目寅さんの啖呵売は まだまだ続く…

けっこうけだらけ ねこはいだらけ サロンのまわりは ひとだらけ

石田 律

* *

掲載順序は不同になっています。

作る つくる 創る 河合恵子

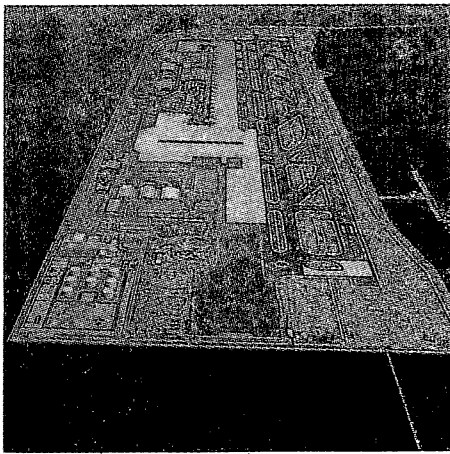
東くんだり

「むかしをとこありけり」ということばで始まるのは伊勢物語。和歌の入った短い物語一二五段からなるこの物語は在原業平が表したと伝えられ、彼の名はドンファンの代名詞でもあるけれど、歌に思いを託し、あるいは恋心を相手に伝え、また歌で返事をかえした時代には古今和歌集や源氏物語とともに教科書のようなもの。この伊勢物語にちなんだ展覧会が東京・世田谷の五島美術館で十一月二十七日まで開かれ、多くの写本をはじめ、物語の情景を描いた俵屋宗達の絵、国宝の尾形光琳の八橋蒔絵螺鈿硯箱など展観された。硯箱はかきつばたの五文字を読み込んだ「唐衣きつつ馴れにしましあればはるばる来ぬるたびをしぞ思ふ」とい

う和歌を思い起こさせる。をとこは都をはなれ、東の国へ向かう途中。徒歩で、あるいは馬で、船で何日もかかった京・大阪から東京への旅もいまでは新幹線のぞみでは二時間半、飛行機ならば一時間。

先日のサロン・あべのの帰途、関西国際空港から羽田空港への最終便に乗りました。真新しい空港は夜がおすすめ。朝、着いたときは殺風景な倉庫のようにみえた内部も照明に輝いています。飛行機の窓際の席に座って外を眺めていると建物の明り、誘導灯が暗闇のなか、幻想的。飛びたつた後、旋回して漆黒のなかに浮かぶ空港島を真下に望み、そして大阪湾を取り囲む光の帯を見ながら東へ。地上のどのようなイルミネーションもライトアップもかなわぬ光景を目で追いながら、その

一つ一つの光の下に様々なひとびとが生きていることを、光の温かさを感じます。争いや怒り、憎しみのなんと小さいことか・・・
関にかがやく光の湖を川を思いつつ、少し早いです、メリー・クリスマス



関西国際空港空撮
Aerial photograph of Kansai International Airport

高齢者と在宅介護

15

【いもと ますみ 井元 真澄】

四、高齢者に対する広報活動

〔大阪府下における実態調査より〕(1)

前回は、脳卒中の要介護高齢者がサービスを知らないということについての考察でした。今回からは、広報活動についての内容に変わります。

《I はじめに》

近年の様々な施策の展開や法改正、老人保健福祉計画の策定などによって、在宅保健福祉サービスの位置づけが重要なものとなってきており、サービスの量的拡大が掲げられていることは、周知の通りです。しかし、サービスの量的な確保はとえられても、住民とイかに結びつけていくかということは、まだまだ議論の余地があります。

サービスと利用者が結びつく段階の分析において、「サービスへのアクセス」および「アクセシビリティ」が重要なキーワードの

一つとして考えられます。

松原康雄は、制度に対するアクセス障害および困難について、アメリカの母子世帯を取り上げ、説明しています。それは、施策のプロバイダーサイドと利用者サイドとの両面から考えることができるとした上で、利用者サイドの困難の原因の一つとして、「社会福祉に関する知識を持たない、持っていないもそれが正確ではない」と指摘しています。

宮岡京子は、「利用のしやすさ」としての

「アクセシビリティ」の構成要素として、アクセシビリティを阻む要因を六つに分けて列挙しています。具体的には、第一に「社会資源そのものに関する問題」、第二に「情報に関する問題(可視性・即時性・選択性)」、第三に「機関・施設側の問題」、第四に「ワーカー側の問題」、第五に「利用者側の問題」、第六に「機関の財政的問題―ニーズが多いと対処できない(財政的制約)」となっています。特に第二の点の内容については、「①情報がない―知らされていない、②情報ネット

ワークがない、③情報が少なくなじみがない」とされています。また、第五の点は、堀川幹夫の「クライエントの限界」の引用より説明されているが、その内容に、「クライエントが資源を活用する能力を持たない場合」、「ニーズと社会資源とが結び付けられない場合」というのがあげられています。

以上のように、「サービスアクセス」の要素において、「情報の提供」は重要な位置にあるととらえることができます。利用者側が、資源を活用し、サービスを利用する能力を持つためにも、サービス提供機関からの情報提供は必要となってくるといえます。

(出典) 井元真澄

「高齢者保健福祉サービスに関する
広報活動の実態と課題
〔大阪府下における実態調査より〕」

『社会福祉士 創刊号』、日本社会福祉士会
一九九四年



★青い空を見上げています

青く晴れた空を見上げて歩いてい
ると、手のひらで風をうけ、両腕を水平
に伸ばせば、それだけで、ふわっと飛
んでいけるような感覚が湧いてくる。

それはたしかに快いのだが、あまり
に何度も感じるものだから、なんだか
自分でも可笑(おか)しくて、ぼうっ
と空を見つめていると、誰かに呼びと
めてもらいたい気分になる。

こんなにも空を飛べるような気持ち
になるのは、もう夢のなかで、きつと
毎晩のように空を飛んでいるからだ。
私が覚えている夢には、たいてい、左



右の手のひらで風の流れを探りながら
目をとじて、心を集中させるだけで、
ふわりと宙に浮ぶ私がある。

飛びはじめの手順や仕草は、いつも
変わらない。私は、夢のなかで飛び方
を練習していて、だんだん上手くなっ
てきた。最初は、みんなが見ている前
だと緊張してしまっ、なかなか身体
が浮ばなかったのだが、いまでは高い
ビルの窓からも落ち着いて身を投げ出
すことができる。

私が夢のなかで飛べるようになった
のは、大学生のときだ。それは大学の
授業で自律訓練法という精神療法を勉
強したことがきっかけになっている。
その訓練法の本を何冊か読み、自分で
ある程度できるようになった。それは
自己催眠のようなものだから、まぶた
の裏に海岸を見たり、星をみたり、道
路沿いに空を低く飛んでいく気分を味
わえる。目が覚めているときに空を飛
ぶ気持ちになれるのだから、夢を見て

いるときには、難なく宙に浮ぶことが
できるのである。

いつも夢のなかで飛んでいるから、
目ざめているときも青い空をみると、
夢の記憶が蘇(よみがえ)ってきて、
ふんわりと、そのまま浮びあがって空
に入っている気がする。周りの人に
気づかれないように、そっと腕を横に
伸ばし、できるだけ力を抜いた指で風
を掴(つか)む。それが、いつもの私
の飛ぶ形なのだ。

晴れた日には、空を見上げよう。そ
して、夢の中でも迷わずに飛んでいけ
るように、雲の形や、雲と空の境い目
の絹のように輝く部分を、しっかりと
覚えておこう。空気の深い海の底で、
重力に縛られ這いずりまわる小さな虫
のような私も、心の重りを靴のなかに
残して、糸の切れた風船のように、く
るくると溶けるように青い空に消えて
いく日がきつとくると思う。(知)

美智子のこんな話

岸田 美智子

「障害者の想いを聞き取れていますか？
介助者のみなさん！」

毎月行っているライフ・ネットワークの

これは便利



サロンの一筆箋

贈りものをする時や、本や写真を送る時などにひと言添えたい場合、便利なのがこの一筆箋です。1冊150円。

外出日では、介助者と障害者とのトラブルが、時々いろいろな形で出てきたりします。今回九月の外出日では、介助者とのコミユニケーションの問題が出てきました。

ある園のAさんは小さな声でしゃべられますが、ゆっくり何回も聞けば、ほとんどわかる方です。このAさんが、いつものように介助者の方と外出をされ、事務局は無事終わったものと思っていました。外出日から二三日たって、事務局からAさんが入っておられる施設に別の用事で電話をしたのですが、そのついでにAさんは、「この間、外出日で自分の言葉を介助者が聞いてくれず、自分の行きたいところに行けなかったので、次回からは電動車いすで出



かけます」ということでした。この日Aさんの介助者は初めての人ではなかったのですが、この日の行き先が野外だったため、いろいろな騒音があつて聞き取りにくかったのかなあと思われます。いつも介助者の方には、障害者の言葉を確認してから介助していただくようにしているのですが、なかなかうまくいきません。言語障害に慣れるには時間がかかるし、なれるまでは外国語を聞いているようだし、介助者もそのつど変わるの、障害者の方も介助者の方もしんどいことが多いと思います。食事のやり方やトイレのやり方など、一人一人障害者の方は違うので、慣れないとうまくいかないことが多いものです。

言語障害の場合、文字盤を指でさしたり、体を使って全身でしゃべったりする障害者にとって、自分の意志を伝えたり介助方法を伝えたりするとき、障害者は非常に体力

を使ったりしてしまうものです。ある言語障害の方でこのことが原因でライフ・ネットワークをやめていかれた方もいます。この方の場合、介助者を固定してほしいということでした。

Aさんの場合、電動車いすで行きたい時は行かれたらよいと思いますが、こういう形で介助者とのコミュニケーションをあきらめたり切ったりせず、介助者との人間関係を広げ、施設の問題を一緒に考えてくれ

お知らせ

サロン・あべの一月の出会い
『和やかに集う、サロンの新年会』
日時 一月二十一日(土) 正午より
会場 (天王寺駅周辺)
会費 二千五百円程度
備考 予約の都合がございますので、一月十日までに必ずお申し込みください。会場は後程ご連絡いたします。
お申し込み・お問い合わせ先
☎〇六―六九一―一〇二八 (富田慶子)

る仲間を増やして行ってほしいものです。最近、介助者の方々からは、外出日がマナー化してきていて、あまりおもしろく



サロンの絵葉書

「花だより」と「出会いの風景」の二種類あります。ちよつとした近況、お知らせや季節のごあいさつなどにごろぞろ。一セット五枚組¥一五〇―

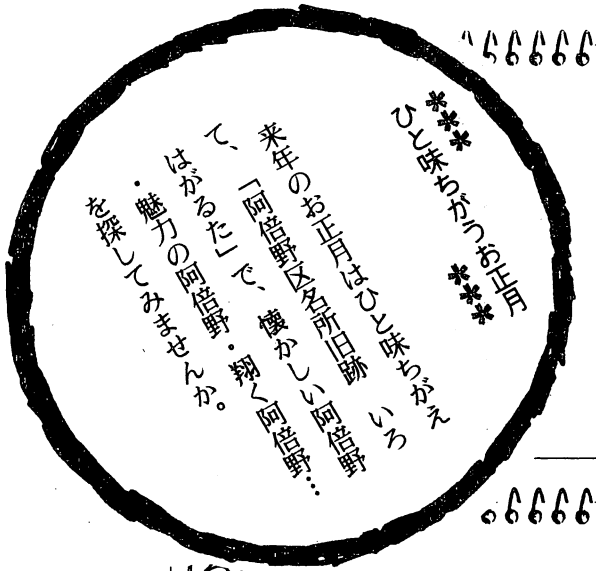
朗読テープのご案内

山本敏子さんのご協力で、Aサロン・あべのV紙二〇一号の録音テープが出来ました。バックナンバーは三九号から、一〇一号の分があります。五〇号は、九〇分と六〇分の二本のテープに、一〇〇号は、一二〇分テープ二本にそれぞれ収録されています。又、絵本「未知の記憶」(作・絵川勝彦)の朗読テープもあります。いずれもご希望の方には、ダビングをします。富田までお申し出下さい。

☎〇六―六九一―一〇二八

感謝します

カンパ、お菓子、ボトルお茶、写真、冊子等のご寄贈。
一筆箋、絵葉書等、お買い上げありがとうございました。お礼を申し上げます。
穴吹辰夫、井元真澄、大谷美津子、小倉寛一、河合恵子、黒羽玲子、須賀茂登子、中田 治、萩尾 健、藤井さゆり、松井悦子、山本篤江、山本みどり、吉原和朗、(匿名二名)
〇十一月のカンパ 金一七、〇〇〇円



老若男女集まって
阿倍野市民学習センター

花将軍北畠顕家の墓所は
北畠公園のなか

阿倍野区名所旧跡
いろはがるた

懐かしい阿倍野、魅力の阿倍野、翔く阿倍野、そして、あなたのふるさと阿倍野...

猿田 博

え：石田美禰子

編集人；サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.102[`94.12. 3 発行] 定価¥1000.
 代表；上平幸雄〒545 大阪市阿倍野区阪南町2-19-2-303 電話06-621-4365
 連絡先；冨田慶子〒545 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 電話06-691-1028
 表題；井上憲一・筆 文中イラスト；石田美禰子
 印刷；セルフ社〒545 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F
 TEL06-719-8212 FAX06-719-8213

一九九一年九月三日第三種郵便物認可(毎日発行)